

## 【水彩画クラブ27】卒業後7年目の活動 2019年8月

### ◇第145回活動:2019年8月12日(月) 午前9時半～午後4時 ヌエック研修棟 207室

次回活動で描いていく『自分の風景』について、自分で撮った写真で”何を描くか”、”何処を描くか”が大事だ。

決めた『自分の風景』の主役、ポイントを何処にするか。構図では2:6:2の割合が大事で、2割が主役・ポイント、全体の6割を占めるところは言わば脇役どころで、色は濃くもなく薄くも無く、普通に見えるように描いていく。残り2割のところは薄めの影色等で薄めに描いていく。

次回活動で描いていく『自分の風景』について、自分で撮った写真で”何を描くか”、”何処を描くか”が大事だ。

決めた『自分の風景』の主役、ポイントを何処にするか。構図では2:6:2の割合が大事で、2割が主役・ポイント、全体の6割を占めるところは言わば脇役どころで、色は濃くもなく薄くも無く、普通に見えるように描いていく。残り2割のところは薄めの影色等で薄めに描いていく。

④ 右半分の暗めの林、その中央部に見える白っぽい葉っぱにマスキングペンで描いて施していく。

- 1) 青っぽい影色(暗青色と少量の焦げ茶色の混色に、緑色を少し混ぜて青の影色を中筆にとり、成るべく淡いめにサーッと塗っていく。
- 2) 塗った色をドライヤーで乾かしてから、中央部や右端に見えている薄い葉っぱにマスキングペンで描いて施していく。
- 3) 左側下方に見える薄青い葉っぱに、薄めの青色(暗青色 etc)を小筆にとり、作品(c)を見ながらその形に描いていく。
- 4) 塗った色を乾かしてから、塗り残した黄色の部分や緑色の部分に、作品(c)を見ながら葉っぱの形に描くようにマスキングを施していく。  
下方の薄い青い葉っぱにもマスキングをしておく。

④ 右半分の暗めの林、その中央部に見える白っぽい葉っぱにマスキングペンで描いて施していく。

- 1) 青っぽい影色(暗青色と少量の焦げ茶色の混色に、緑色を少し混ぜて青の影色を中筆にとり、成るべく淡いめにサーッと塗っていく。
- 2) 塗った色をドライヤーで乾かしてから、中央部や右端に見えている薄い葉っぱにマスキングペンで描いて施していく。
- ⑤ 影に見える葉群の間に、暗めの濃い緑の影色(暗青色と少し焦げ茶色を混ぜてから、緑色を混色する)を筆に取り、手本を見ながら影のところに塗っていく。  
右側部分の奥の暗い影部分に、暗めの濃い緑の影色で手本を見ながら塗っていく。
- ⑥ 塗ってきた絵の具をドライヤーで乾かしてから、手本を見ながら枝を描いていく。  
前項④でつくった緑の影色に、少し焦げ茶色を混ぜた焦げ茶っぽい影色を小筆に取り、手本を見ながら枝振りを描いていく。
- ⑦ ドライヤーで十分に乾かしてから、施してきたマスキングインクをキレイに剥がし取って描き終えた。

※ 午後4時に活動を終え、“暑気払い”の会場・東松山駅東口にある『日本海庄や』に、都合で欠席される仲間の車に便乗して向った。神代さんにも声かけして10人で暑気払い宴を盛り上げた。

5. 次回(9月9日(月))の活動予定 研修棟 207号室

次回から、11月開催予定の“第7回美術展”に出展する『自分の風景』を描いていく。

各自用意した『自分の風景』を、水張りしたF8orF10のウォーターフォード水彩紙にデッサンしてくる。